



公明そうか

平成28年 春季号
公明党草加市議団
団長 宇佐美正隆
〒340-8550 草加市高砂1-1-1



草加市役所 本庁舎の垂れ桜前にて

Head line 一人ひとりが輝く未来へ

平成28年度 一般会計当初予算は714億8,400万円

草加市議会平成28年2月定例会が2月24日から3月18日まで開催されました。
平成28年度は第四次草加市総合振興計画がスタートします。

平成28年度予算が決定いたしました

平成28年度の草加市一般会計予算金額は714億8,400万円となり、平成27年度予算額に比べ、11億4,600万円、1.6%の増となりました。

平成28年度当初予算額を
市民**1人当たり**で見ると以下ようになります。

	款	H28	H27	H28-H27	増減率(%)
1	議会費	1,788円	1,931円	△143円	△7.4
2	総務費	3万6,072円	3万8,856円	△2,784円	△7.2
3	民生費	14万959円	12万9,918円	1万1,041円	8.5
4	衛生費	2万2,269円	2万3,049円	△780円	△3.4
5	労働費	186円	268円	△82円	△30.6
6	農林水産業費	360円	323円	37円	11.5
7	商工費	1,604円	1,258円	346円	27.5
8	土木費	3万7,506円	4万999円	△3,493円	△8.5
9	消防費	9,289円	8,782円	507円	5.8
10	教育費	1万8,324円	1万9,801円	△1,477円	△7.5
11	災害復旧費	0円	0円	0円	—
12	公債費	2万1,966円	2万1,046円	920円	4.4
13	予備費	407円	408円	△1円	△0.2
	合計	29万 730円	28万6,639円	4,091円	1.4

*人口は各年1月1日現在を使用
平成27年1月1日 人口24万5,389人
平成28年1月1日 人口24万5,878人

第四次草加市総合振興計画・第一期基本計画が始まります。

重点テーマは次の通りです。

持続可能性の向上

- 照明のLED化
- 中学校の非構造部材耐震化

コミュニティ力の向上

- 草加松原魅力アップ
- 町会への補助金アップ

- シティプロモーション推進
- 学力向上推進
- 草加市文化会館の大規模改修や建て替え

ブランド力の向上

重点テーマは、厳しい社会状況の中でも効果的・効率的に将来都市像である「快適都市～地域の豊かさの創出～」を実現するために定められたものです

草加駅東ロータリー



ご意見・ご要望・ご相談等お気軽にお申し付け下さい。

公明党草加市議団ホームページ

<http://komei-sokashigidan.com> 是非ご覧下さい。

寄附禁止のルール

■政治家の寄附は禁止 ■有権者が政治家に寄附を求めることも禁止

草加市の街路灯が LED化実現へ

草加市の街路灯が
10年リースにより
LED化が図られます

市内16,000基のLED化実現へ。

- LED化により電気料金を含め維持管理費の削減が実現！
- リース期間10年で、約2億5,400万円の削減が見込まれます！
- 環境面では、約3,000トンの二酸化炭素の削減効果が見込めます。
- 防犯対策としても、明るくなることで抑止力が働きます！



イメージです

広報そうか カラー化



4月20日号からカラー化になります。カラー化にすることにより、大きなインパクトが感じられ、見やすくなります。また、レイアウトも縦用から横用に変更されます。

若者が見ても、満足できるような紙面になります。ページ数は8ページを年21回、12ページを年2回発行致します。

カラー化するページは、一般的な8ページの場合、1, 4, 5, 8ページになります。



今までの「広報そうか」

第二庁舎が 完成しました。

5月6日から
一部窓口業務が移転します！

電話番号は今までと同じ
048-922-0151です

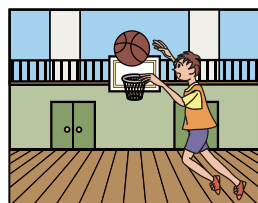


- 5階／議会図書室・委員会室
- 4階／議場・議員控室・議会事務局等
- 3階／資産税課・納税課・市民税課
- 2階／保険年金課・子育て支援課
保育課・子ども育成課
障がい福祉課・介護保険課
長寿支援課
- 1階／市民課・会計課

学校の 非構造部材 耐震化設計



安心安全な教育環境の整備を推進し、災害時に避難所となる学校施設の防災機能を向上させるため、中学校全校の体育館において、窓ガラス、照明器具、バスケットゴールなどの非構造部材の耐震化に取り組みます。今年度は非構造部材耐震化の設計を実施し、工事は来年度から開始されます。小学校についても、中学校の工事完了後、着手していきます。



そうかエコタウン

太陽光発電などでエネルギーを地域でつくり、省エネを徹底してその使い方を変えていく、それが埼玉県エコタウンプロジェクトです。今まさに皆さんが暮らしている街を舞台に展開していきます。埼玉県エコタウンプロジェクトに谷塚駅西口地区が選定されました。

平成28年度は、
‘道’のエコ化が進みます

谷塚駅東口ロータリー

- ・駅前ソーラー式LED灯5基
- ・駅前ソーラー式エアポンプ1基

谷塚中央通り

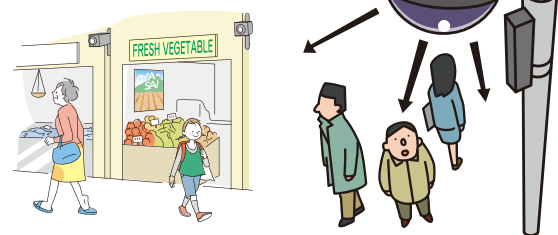
- ・自転車レーン遮熱性塗装



平成28年度

- 出張相談窓口の拡充
- 商店会商品券による省エネ家電買換え補助の継続
- 賃貸共同住宅スマートハウス化モデル事業

防犯カメラの 設置について



草加市では犯罪の抑止、予防や再発防止、犯罪発生後の事件の解明などを目的として、防犯カメラを草加駅東西口と松原団地駅東西口、谷塚駅東口に現在44台を設置、稼働しています。

平成28年度は10月からの稼働を目指し、谷塚駅西口に3台、新田駅東西口に9台の防犯カメラの設置を行う予定です。これにより、市内4駅の全ての出入口周辺への防犯カメラの設置が完了することになります。





認知症カフェ

認知症の方やその家族を支援する事業として、市および地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を設置します。認知症に関わる医療機関や介護関係者との連携を図り、認知症の方やその家族に対する相談支援事業を行います。その一貫として、認知症カフェを6月に1カ所、開設していきます。今後、増やしていく予定です。



予防接種モバイルサービス



予防接種につきましては、複雑で接種間隔がよく分からない、今までかかった子供の接種が分からなくなることが発生します。そのため、子供の生年月日を登録すれば、スケジュール表にワクチン接種期間を表示し、スマートフォンや携帯で情報発信する事業を9月より行います。1か月前に予防を促すサービスや予約後は接種の1週間前、前日、当日に確認メールを行います。



お問い合わせは…保健センター
TEL 048-922-0200 まで

待機児童対策として 269名の 拡充になります。



今年度、待機児童解消を目指して、4月に保育園が2園、認定こども園が1園、小規模保育施設が1園、開設されます。

認可保育園

ほPPERランド草加谷塚
(草加市谷塚) 定員 90 名
けやきの森保育園草加西町
(草加市西町) 定員 90 名

認定こども園

かおり Karuna 認定こども園
(草加市氷川) 定員 71 名 (保育部分)
かおり幼稚園からの移行です

小規模保育施設

あさひなのはな保育室
(草加市旭町) 定員 18 名



猫の避妊 去勢手術の 補助金について

圧倒的に多い野良猫の殺処分ゼロを目指し、草加市では平成27年度から「地域猫対策」をスタートしました。飼い主のいない猫などに避妊・去勢手術を施すことは、野良猫の増加を防ぐ有効な方法であり、さらに殺処分の減少につながるものと考えられます。平成28年10月を予定に、メス4,000円、オス2,000円を手術代金の約2割相当額を補助する予定です。詳細は今後決定してまいります。



お問い合わせは…くらし安全課
TEL 048-922-3607 まで

コミュニティバスが 運行開始!



4月8日から2路線にて運行開始
運賃：180円から300円
乗車距離に応じて加算



保育料が 軽減されます



4月より年収が一定未満の世帯について、保育園の場合は、1番上のお子さんが小学生や中学生であっても、幼稚園の場合は、1番上のお子さんが小学4年生以上であっても、2番目のお子さんの保育料が半額、3番目以降のお子さんの保育料が無料となります。

保育園に通われているお子さんにつきましても、0歳、1歳、2歳のお子さんに限り、ご兄妹の年齢や世帯の収入に関わらず、手続きをお取りいただければ、3番目以降のお子さんの保育料が無料となります。





2月定例議会での代表質問

団長
宇佐美 正隆

平成28年度施政方針に対する

代表質問(主なもの)と答弁

「つよい市役所」、「つよい財政力」を実現するために大切である税の確保はどのように行うのか伺います。

「つよい市役所」、「つよい財政力」を実現するために税の確保についてでございますが、安定かつ持続可能な行政施策を実施するため本市では引き続き公平・公正な課税を行うとともに、徴収率の向上を図り税収の確保に努めてまいります。また、産業・雇用など様々な分野でまちの活力・経済力をつよめて、税収の向上をめざしてまいります。

市民力を引き出し、地域力を引き出すものについて、どのようなことを考えているのか伺います。

市民の様々な意見を聞き、市民力、地域力を引き出すことにつきましては様々な取り組みがございますが、大きく分けて町会・自治会など地域で活動する方々の地域力、そして様々なテーマや社会課題の解決などのために活動している方々のコミュニティ力、そして産業面・経済面から活性化した草加を創り出すと取り組む方々の産業力は、これからの草加をつよいまちにするためには、いずれも大切な力であると考えております。そして、それらをより強めていくための取り組みとして、例えば町会・自治会活動に対する支援、あるいは市民活動に取り組みもうとする方々への助成や活動に有効な情報提供をはじめとする支援、そして産業振興の視点から実施している様々な事業などがございます。これらを通じて市民相互や地域内部の絆を強めることさらには行政に対する市民の皆様の信頼を強める中で、市民と行政の結束力を高めていきたいと考えております。

草加市の高齢社会を見据えた「認知症初期集中支援チーム」の設置や「認知症地域支援推進員」の配置について、田中市長の考えを伺います。

認知症初期集中支援チームの設置と認知症地域支援推進員の配置につきましては、昨年4月から認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方やその家族に対する相談支援、また認知症を支援する医療機関や介護関係者の連携を図っております。さらに、認知症初期集中支援チームにつきましては、今後、草加八潮医師会と協議を重ね、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を図ってまいります。

地域包括ケアシステムの構築も必要であると認識しているが、田中市長の考えを伺います。

地域包括ケアシステムの構築につきましては、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを実現していくことは、非常に重要であると認識しております。本市といたしましては、地域における医療・介護の関係機関と連携を図り、包括的かつ継続的に在宅医療と介護が提供できるような体制や、地域で高齢者を支える仕組みを構築していくなど、きめ細かな支援を行っていきけるよう、関係団体や市内の横断的な連携を更に深めてまいります。

産業新成長戦略とは、どのようなものを目指し、どのように戦略として組み上げていくのか伺います。

産業新成長戦略についてはでございますが、産業新成長戦略の基本的な方向性として「快適都市―草加」の持続可能性を支える産業構造の構築を目指し、このための重視すべき視点として「域内、いわゆる市内経済循環の活性化」と「域外収支の改善、いわゆる外需獲得」につながる産業を育成するため、創業支援の推進による都市型産業の育成と雇用創出、競争力ある製品・モノづくり技術のPRと企業価値の向上、域内経済循環活性化のための施策継続、農工商連携による農産物のブランド化と地産地消の推進の4つの基本戦略を掲げ、必要な施策を講じてまいります。

都市照明をLED化することにより、どのような効果が期待されるのか、また草加市全域で何基の照明灯があるのか、リース代や電気代を含めてどの位、経費削減となるのか伺います。

LED化による効果、照明灯の数及び経費削減についてでございますが、LED化に伴う効果につきましては、電気料金を含め維持管理費の削減となり、本市でも10年リース期間で、約2億5,400万円の削減が見込めます。さらに、環境面では、約3,000トンの二酸化炭素の削減効果が見込めます。また、市内の都市照明施設につきましては、本年1月末現在で、1万8,557基となっております。そのうちの約1万6,000基のLED化を予定しております。



飯塚 恭代

さようなら議場
50年間ありがとう

本庁舎の建て替えに向け進むなか、議会におきましては4月末に、新第二庁舎へ仮移転することになりました。昭和40年12月定例会から50年間使用され、155名の議員の熱く、活発な議論が展開されたこの議場は、平成28年2月定例会の閉会をもって閉鎖致しました。OB議員の方々にもご出席を頂き、議場閉鎖のセレモニーを開催させて頂きました。



金井 俊治

障がい者の就労支援に関する事柄について

就労のための企業開拓、マッチング、継続就労への支援、仕事を辞めてしまった方に対する支援について、取り組みの現状を尋ね、職員体制の充実を求めました。

- 障害者優先調達推進法に基づく市の現状と取り組み及び販売先と販路の拡大について
- 障がい者向けの就職面接会の取り組みについて
- 障がい者の就労機会として就労に有利になるための資格取得の補助について



佐々木 洋一

今回の質問に対しては、地域力向上、コミュニケーションの形成、モバイルの利用などを展開し、地域の課題としてすべての項目がそのようになっております。

- ①町会・自治会への加入促進及び電子化の促進について
・加入促進のため電子化を通しモデル的にも取り組むべき。
- ②学力向上のための環境整備について
・校務支援システムを導入すべき。
- ③公園行政について
・小規模公園の活用すべき。
- ④道路行政について
・道路路面下の空洞化調査について。
・道路路面下調査実施するべき。
- ⑤道路幅員が狭くなる箇所の対応について
・草加警察署北側道路からの大型車が侵入しないような対策を。



広田 丈夫

小中学校の連携

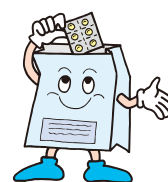
- 小中学校の教職員が義務教育9年間で児童生徒を育てる意識を持つことが大事であること。
- 中学校生徒が小学校児童との交流を通じ、自分が大切な存在である自己肯定感が養われ、暴力行為やいじめの解消に効果的であること。
- 平成28年度から3つの中学校区をモデルとして小中一貫教育が行われるが、学校応援団など地域の方と一体になって取り組むことが重要。

水道料金体系

- 基本水量の細分化、使用水量が多くなるにしたがって単価が高くなる料金体系を見直しをするよう要望、推進しました。



西沢 可祝



①「薬に関すること」について

社会問題となっている高齢者の薬の飲み残し、かかりつけ薬剤師・薬局の普及、「お薬バッグ」の取り組みを求めました。「お薬バッグ」とは、自宅にある残薬をバッグに入れて薬局などに持参すれば、薬剤師が確認の上、各医療機関の医師と相談しながら薬を調整し、重複投薬による副作用防止や医療費の無駄の削減を目指すというものです。

②「発達支援について」

あおば学園の建て替えと、あおば学園、子育て支援センターの療育専門職員の体制充実を求めました。

③「松楽苑について」

老朽化した松楽苑、高齢化が進み介護の必要な入所者への処遇改善と施設の方向性を訊ねました。

田中市長に
平成28年度の予算要望書を
提出しました

草加市の課題、そして日頃皆様から頂いたご要望をまとめ、公明党草加市議団で平成28年度予算要望書として田中市長に提出いたしました。

